

《問い合わせ先》

第十一管区海上保安本部 海洋情報調査課

課長 松本 正純

098-867-0118（内線 2530）



第十一管区海上保安本部

平成26年1月31日

那覇西方沖で顕著な潮流^{※1}を確認

当本部では、那覇西方沖の前島～慶伊瀬島（チービシ）間の狭水道で、平成25年5月14日～6月17日に潮流観測^{※2}を実施しました。その結果、上げ潮^{※3}時（北向き）には秒速最大約70cm、下げ潮時^{※3}（南向き）には秒速最大約80cmとなる、顕著な潮流が存在することを確認しました。

当本部では、船舶の交通安全・マリンレジャーの安全・海難救助等に資するため、潮流観測を実施しています。

今年度は、平成25年5月14日～6月17日に、前島～慶伊瀬島間の狭水道（「位置図」参照）で、流速計設置（「設置状況図」参照）による潮流観測を実施し、データを解析したところ、上げ潮時には秒速最大約70cmの北向き、下げ潮時（南向き）には秒速最大約80cmの南向きの顕著な潮流が存在することを確認しました。

ちなみに、この最大の流れは大潮時期に発生し、上げ潮の最大流は那覇の高潮（満潮）の直前に、下げ潮の最大流は那覇の低潮（干潮）の直前に発生します。

なお、今回の観測結果の詳細は、「沖縄本島南西潮流観測報告書（前島東方）」としてインターネットで公表しております。

また、インターネット上の潮流推算のページ（選定海域において、過去の観測点における閲覧当日から3週間先までの1時間毎の潮流の状況を、矢符の色・向き・大きさで表現しているページ）に今回の観測点を追記（図1）したほか、航海者のために海図に上げ・下げ最大流速を図示する（図2）ことにしております。

※ HPIは“沖縄の海洋情報”で検索してください。

<http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN11/>

※ 1 潮流とは、月や太陽等に起因する潮汐現象により発生する周期的な流れ。

潮流は、定点での長期間の流れの観測データを解析することで、予測に必要な要素を精度良く抽出することができるため、潮汐と同様に比較的精度良く予測可能。

※ 2 潮流観測とは、流れの向き及び速さを計測する流速計という機器を長期間設置するなどして、潮流を観測する業務。

※ 3 上げ潮とは、低潮（干潮）から高潮（満潮）になる海面がしだいに上昇している間のこと。逆に高潮（満潮）から低潮（干潮）となる海面がしだいに下降する間が下げ潮。

※ 秒速70cm = 時速2.52km、秒速80cm = 時速2.88km

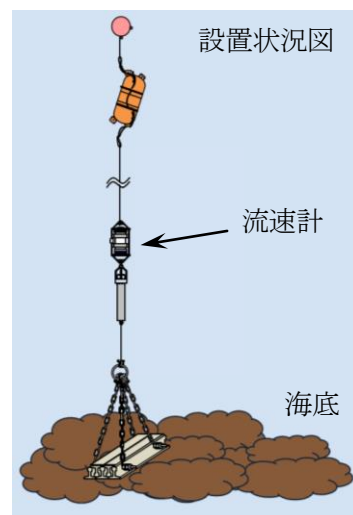
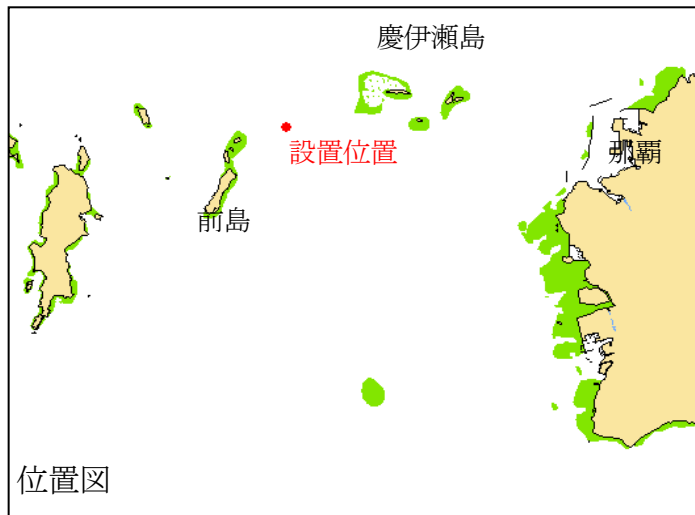


図1 (「潮流推算」ページの「沖縄島南部」海域)

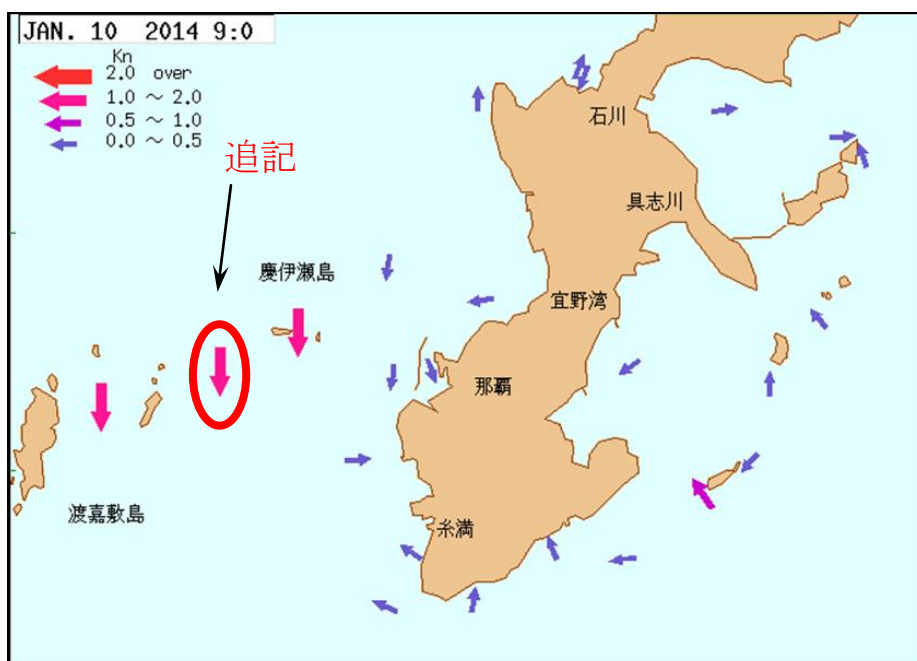
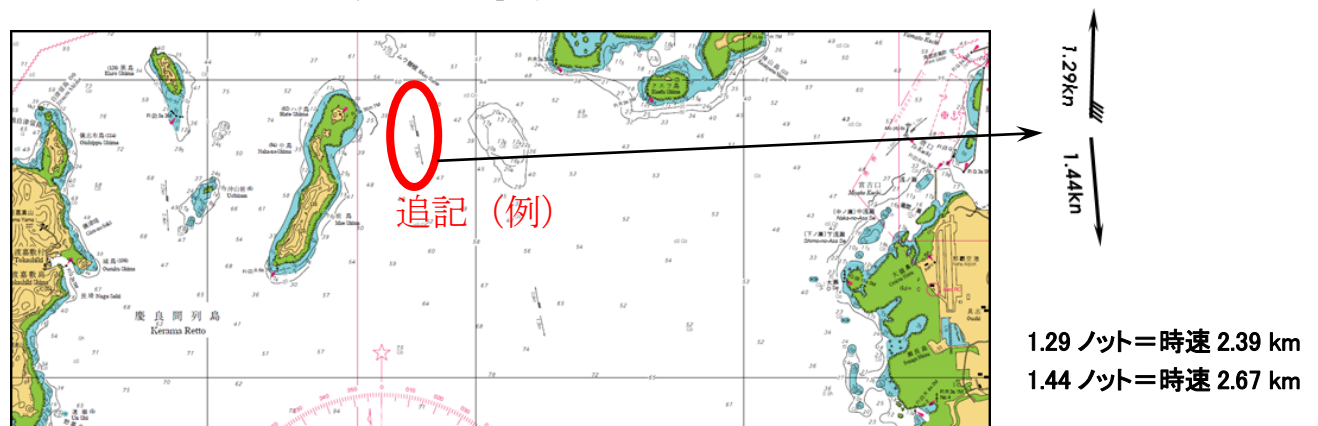


図2 (海図 W222A 「沖縄島南部」抜粋)



海図では、速度をノットで表記しています。1kn(ノット) = 1海里/h = 1.852km(キロメートル)/h